

中野区立小中学校再編計画（第2次）【素案】に関する意見交換会等における主な意見・質問と回答

（左側が区民等の意見・質問、右側が教育委員会の回答）

1. 再編計画改定全般について

<p>再編計画（第2次）【素案】となっているが、これは現行の再編計画を引き継いでいるものか。また、今回、再編計画（第2次）ということだが、今後、再編計画（第3次）があるということか。</p>	<p>現行の再編計画を改定したものだが、適正な規模の学校を目指すことなど基本的なことは引き継いでいる。改定にあたっては、適正な規模の学校を目指すとともに、小中学校の連携や学校と地域との連携を推進するため、小学校と中学校の通学区域の整合性をできる限り図ることとした。また、再編計画（第2次）の計画終了時点には小中学校の通学区域の整合性が図れていない学校の通学区域の整合性を図る方策を明らかにするとともに、児童生徒数、学級数を勘案した計画の見直しをする予定である。</p>
<p>なぜ、統合と通学区域変更の具体的な時期が示されないのか。</p>	<p>大規模改修し統合新校として使用を予定している学校の校舎の調査・診断を平成25年度行う予定である。その結果によっては、スケジュールに影響が出る可能性があるため、調査・診断を踏まえ、統合と通学区域変更の具体的な時期を平成25年度に定めることとした。</p>
<p>保護者や区民等の理解が十分に得られてから案を策定してほしいが、再編計画（第2次）の策定までのスケジュールを変更することは考えていないのか。場合によっては、策定の時期を先延ばしすることもあり得るのか。</p>	<p>再編計画（第2次）の策定については、スケジュールどおりに進めたいと考えているが、素案に対する意見等により大きな修正がある場合、教育委員会での協議が必要なため、計画の策定が先延ばしになることもあり得る。</p>
<p>この素案は、教育委員会だけで決定したものなのか。区長の決定はされているのか。また、計画案の変更はあり得るのか。</p>	<p>教育行政に係る計画の策定なので、教育委員会において協議し決定したものである。区長の決定する事案ではない。また、合理的な理由があれば計画案の変更はあり得ると考えている。</p>
<p>指定校よりも近い学校があるのに、その学校に通えない地域があることについて、どのように考えているのか。</p>	<p>通学距離の問題はあるが、小中学校の連携を推進するためには、小中学校の通学区域の整合性を図る必要があると考えている。</p>
<p>通学距離について「直線〇km」という表現がある。実際に歩き、徒歩何分というような表現にできないのか。</p>	<p>客観的に比較できるように直線距離で表している。また、統合に伴って通学距離が最も長くなる所については実際に歩いて、通学できると判断した。</p>

<p>よりよい教育環境とは具体的にどこか。</p>	<p>学校の規模が小学校は少なくとも 12 学級から 18 学級、中学校は少なくとも 9 学級から 15 学級であること、小中学校の通学区の整合性が図れていることにより、小中連携や学校と地域・家庭との連携の推進がしやすくなっていること、校舎の老朽化に対応した教育環境の整備がなされていることなどがある。</p>
<p>小学校から同じ中学校に進学することで、同じ地域で子どもを育てる環境を整えるということでは良いと思う。</p> <p>しかし、子どもによって大規模校が合う子、小規模校が合う子がいると思うので、学校ごとに特色があったほうが良いのではないかと。また、学校選択制を導入することは検討しないのか。しないのならそれは何故か。</p>	<p>中野区は指定校制度をとっており、特定の地域の学校を小規模校にするということは難しい。</p> <p>また、公立学校は地域のコミュニティの核としての役割を果たしていくことが重要と考えており、学校選択制の導入は考えていない。なお、他区でも、学校選択制を見直す動きがある。</p>
<p>学校再編に関連して、国や都からの支援を求めることはできないのか。また、予算がないから進められないということがないようにしてもらいたい。</p>	<p>国や都の補助金などの支援については、工夫しながら確保していきたい。また、予算についても担当部署と協議し、必要な予算を確保していく。</p>
<p>統合によって、学校が 1 校なくなると、どれくらいの財政効果があるのか。そういう試算はしているのか。</p>	<p>学校再編は、財政的な効果ではなく、子どもたちによりよい教育環境を提供していくという観点から行うものである。このことから財政効果については、試算していない。</p>
<p>再編計画（第 2 次）は、10 か年計画に影響が及ぶと思うが、10 か年計画はどのようにするのか。</p>	<p>10 か年計画は 5 年ごとに見直しを行うことになっており、その中で必要な見直しは行っていくことになる。</p>
<p>資料の人口推計はどのように行っているのか。</p>	<p>人口推計は、町丁別の住民登録者数を基本として、学校ごとに年齢進行率、就学率等を乗じて算出している。</p>
<p><意見></p> <p>実際に統合新校では、さまざまな問題があった。そのことについても、隠さずに伝えていくべきだと思う。</p>	
<p><意見></p> <p>前期の学校再編では、メリットもあったが、デメリットもあった。デメリットもきちんと保護者や地域に伝えてほしい。学級数が減れば、教員の配置が減り、専科の教員の確保が難しくなることなど、一定の学校規模が必要な理由をしっかりと説明し、よりよい学校をつくるため、学校再編が必要であることを十分に理解されるようにしてほしい。</p>	

<p><意見></p> <p>適正な規模の学校とするためには、学校再編を進めていく必要があると思う。そのためにも学校再編を着実に進めてほしい。</p>	
<p>学校再編は、教育委員会だけの問題ではないので、関係部署と連携して進めてほしい。</p>	<p>学校再編を教育委員会だけのこととせず、関係部署と連携して進めていく。</p>
<p><意見></p> <p>学校再編は、跡地の活用や避難所機能の確保、地域コミュニティの核としての役割などさまざまな影響があり、それらをトータルで検討し提案してもらいたい。</p>	
<p><意見></p> <p>学校がなくなると、地域活動が弱体化するのではないかと心配の声がある。保護者や地域などの理解を得るため、丁寧に進めていってほしい。</p>	
<p><意見></p> <p>学校再編は一人一人の子ども、親に影響を与えていることやそれぞれに思いがあることを教育委員会は受け止めてほしい。また、これから11年間という長い期間の中で、そのことについても考えていってほしい。</p>	
<p><意見></p> <p>新しい学校ができる。この新校は素晴らしい学校になるとアピールしながら進めてほしい。</p>	

2. 中野区が目指す教育の姿について

<p>中野区において何が教育の課題になっていて、学校再編を行うことで、どのように解決されるのか。</p> <p>また、統合にあたっては、学校の特色、地域の状況、子どもたちの様子を十分理解したうえで進めてほしい。</p>	<p>学力・体力の向上、「生きる力」の育成、コミュニケーション能力の向上、豊かな人間性の育成などが課題となっており、学校再編により一定規模の学校となることで、それらの向上や育成が図られると考えている。</p> <p>また、統合にあたっては、学校の特色、地域の状況、子どもたちの様子を十分理解して進めていく。</p>
---	---

3. 区立小中学校再編計画改定の概要について

(1) 再編計画改定に関する考え方について

<p>適正規模の根拠がわからない。小学校で児童数が500人を超えるのは、適正規模ではないと思う。</p>	<p>学校教育法施行規則では、小中学校の標準規模を12学級以上18学級以下と規定しており、中央教育審議会の検討部会においても、その規模が概ね妥当とされている。</p>
<p>他区では学校再編にあわせ、小中一貫校を設置している。小中学校の通学区域の整合性を図るのは、小中一貫校の設置を前提としているのか。</p>	<p>小中一貫校の設置については、校地面積や教員の免許制度などの課題もあり、現時点では設置は難しいと考えている。</p>

<p>統合新校を設置する学校で、大規模改修する学校と改築する学校があるが、その判断の根拠は何か。</p>	<p>既存の校舎を活用し大規模改修を行うことが原則だが、中学校を小学校として使用することになる現第八中と、施設規模などの理由から現新井小は改築することとした。</p>
<p>仮校舎にするための改修工事は行うのか。また、仮校舎で必要な教室数を確保できるのか。</p>	<p>必要な教室等を確保するための改修工事を行い、仮校舎として使用する。また、現時点では仮校舎で必要な教室数は確保できると考えているが、必要に応じプレハブでの対応もありうると考えている。</p>
<p>大規模改修と改築の違いが分かりにくいので、改築は建替えや新築に表現を変えた方が良いのではないか。</p>	<p>区民の方にわかりやすいような表現に工夫していく。</p>
<p><意見> 学校は、災害時の防災拠点となっているので、大規模改修や改築にあたっては、その点についても考慮してもらいたい。</p>	
<p>小中学校の通学区域の整合性を図り、小中学校の連携を推進することで、具体的にどのような効果があるのか。</p>	<p>小中学校の通学区域の整合性を図ることにより、9年間を見通した教育活動を行うことが可能となり、学びの連続性による学習効果や中1ギャップの解消等が期待できる。 また、検討委員会を設け、小中学校の連続したカリキュラムの策定など、連携教育のあり方について検討を進めている。</p>
<p>通学距離を長くしてまで、小中学校の通学区域の整合性を図る必要があるのか。</p>	<p>小中学校の通学区域の整合性をできる限り図ることにより、区全体として、9年間を見通した教育活動を行うことが可能となり、学びの連続性による学習効果や中1ギャップの解消等が期待できる。 また、小中学校の教員の交流が図られることにより、小学校から中学校への円滑な接続も期待できる。</p>
<p><意見> 通学の安全対策については、人的な配置や関係機関への働きかけなど、万全に取り組んでももらいたい。</p>	
<p>統合にあたっては、子どもの不安な気持ちなど精神面についてのケアをしてもらえるのか。 また、統合対象校間における交流事業を充実してほしい。</p>	<p>子どもたちの精神的な不安については、スクールカウンセラーの増配置など、十分にケアできるようにしていく。 交流事業については、円滑に統合できるよう可能な限り学校間の取り組みを支援していく。</p>

<p>学校再編により、学校支援ボランティアやPTA等も統合される。情報提供をきちんとしてほしい。</p>	<p>適時的確に情報提供していきたい。</p>
--	-------------------------

(2) 通学区域の見直しについて

<p>再編にあたっては幹線道路や鉄道の横断などに配慮しているが、中学校で新たに環状七号線を横断しなければならない通学区域ができる。環状七号線の横断を解消することはできなかったのか。</p>	<p>環状七号線で通学区域を変更すると、それに伴い啓明小が小規模化し、平和の森小が大規模化してしまうため、啓明小の通学区域を尊重し、第四中の通学区域を変更して、通学区域の整合性を図った。</p>
<p>谷戸小と桃花小の通学区域を変更するということが、桃園第三小、仲町小、桃丘小を統合するときに、通学区域変更すればよかったのではないか。</p>	<p>前期の再編においては、現行の通学区域を尊重しつつ、特に小規模化の著しい学校を解消し、学校規模の確保を図ることを目的に再編を行い、現在の桃花小の通学区域となった。</p> <p>再編計画の改定にあたっては、小中学校の連携や学校と地域・家庭との連携を推進するため、小中学校の通学区域の整合性を可能な限り図ることを目的に加え、再編を実施することとした。このことから中野区全体で通学区域を見直すこととし、谷戸小と桃花小についても、通学距離なども考慮して、見直すこととした。</p>
<p>小中学校の通学区域の整合性を図ることで、町会の分断が解消された地域もあるが、町会の分断が解消されていない地域もある。町会と通学区域の整合性は図ってもらいたい。</p>	<p>小中学校の通学区域の整合性を図るにあたり、幹線道路・西武新宿線の横断や町会・自治会の地域との整合性も図ることを検討したが、すべてを満たすことは困難である。</p>

(3) 区立小中学校の統合について（具体的内容を除く）

<p>長い歴史のある伝統校の校名がなくなってしまうのは残念である。統合新校は、必ず新しい校名にするのか。</p>	<p>新しい学校を設置するということから、統合新校は新しい校名とすることを原則とするが、具体的には学校統合委員会で検討してもらうことになる。</p>
<p>新しい名称の統合新校が設置されるのは、仮校舎に移転する時点か、仮校舎から大規模改修終了後の新校舎移転の時点か。また、統合の準備期間はどの程度を考えているのか。</p>	<p>新しい名称の統合新校が設置されるのは、仮校舎に移転する時点である。また、統合の準備期間は、学校統合委員会を統合の概ね2年半前に設置する。なお、校舎を改築する場合には、工事を予定している時期の3年前に学校統合委員会を設置する。</p>

<p>統合対象校をすべて閉校して統合新校を設置すると経費がかかる。</p> <p>歴史のある古い学校の方に統合すれば経費がかからず、その学校の伝統等も継承されるので、歴史のある古い学校を残し、新しい方の学校を閉校して吸収統合した方がいいのではないかと。</p>	<p>統合はそれぞれの学校に在籍する子どもたちのことを考え、統合対象校を対等に統合するため、該当校をいずれも廃止し、統合校を新しい名称の新設校として設置することとした。</p>
<p>統合により新たに保護者に負担がかかるものについて、どのような配慮をするのか。</p> <p>保護者に経済的な負担がかからないようにしてもらいたい。</p>	<p>具体的には統合が確定してから検討することになる。なお、前期の学校再編では、在校生の標準服や体育着などの学校指定品は公費負担とした。</p>
<p><意見></p> <p>地域にとって学校をなくすのは想像を絶することであり、これまでどおり地域活動ができる環境を整えてほしい。</p>	

4. 今後の再編計画の具体的内容について

(1) 中野神明小学校・多田小学校・新山小学校の統合

<p>南台四丁目、五丁目から中野神明小、多田小に行くには遠すぎるのではないかと。</p>	<p>現在の学校までの最も遠い距離は直線で、中野神明小で約700m、多田小で約600m、新山小で約700mである。中野神明小に設置する統合新校については約700m、多田小に設置する統合新校については約900mとなるが、小学生でも通える距離であると考えます。</p>
<p>新山小は小規模化しているが、中野神明小や多田小に指定校変更していることが影響していると思う。統合しても統合新校ではない学校への指定校変更を認めてしまうと統合新校が小規模化してしまうと思うが、統合新校からの指定校変更は認めないということか。</p>	<p>中野区は指定校制度であるため、住所によって指定された学校に通学してもらうことが原則である。指定校変更については、基準に該当した場合に認められるものであり、統合新校からの指定校変更についても同様の取り扱いとなる。</p>
<p>統合に伴う指定校変更の取り扱いにおいて、統合対象校の通学区域では、統合するどちらの学校への指定校変更も認めるとあるが、新山小は2つの学校に分かれるので、統合が決まったことにより、中野神明小、多田小に新生が指定校変更してしまう可能性がある。在校生のことを考えると指定校変更を認めないでほしい。</p>	<p>統合に伴う指定校変更の特例については賛否両論ある。統合新校を設置しない学校は小規模化してしまうから特例を認めないで欲しいという意見がある一方、統合することが決まっているのに、統合新校が設置される学校へ指定校変更できないのはおかしいという意見もあり、検討した結果、どちらの学校にも入学できるようにした。</p> <p>なお、今回の計画では、統合新校の位置としない学校を仮校舎とするため、前期ほど新生が激減してしまうことはないと考えている。教育委員</p>

	会としても、児童数が減っても統合するまでは、しっかり支援していく。
新山小は適正な規模ではないというが、学校運営は適正に行われていると考えている。新山小の子どもたちは適正な学校教育がされていないというように聞こえる。	新山小が不適正というわけではない。学校規模の問題は全国的な課題である。現在若手の教員が増えており、経験の浅い教員が学年で1人の場合、他の教員と相談することが難しくなる。適正規模の学校を作るということで、教員同士がフォローできる体制を作ることができる。中野区全体の教育を考えると適正規模の学校を作る必要があるということである。
適正な学校規模については、いろいろな学説がある中で、中野区では小学校は12学級から18学級としているが、どうしてそうなったのか。新山小が適正規模だと思う。	教育委員会では、一定規模の集団で活動することや教員数の確保などから、小学校では12学級から18学級が望ましい規模と考えている。
新山小は中野神明小、多田小よりも先にキッズ・プラザが設置された。また、体育館の耐震補強もしている。新山小はお金をかけて教育環境を整備してきたのに、学校として存続しないというのは計画性がないのではないか。	統合対象に関係なく耐震改修については全ての学校で行っている。区の10か年計画に基づきキッズ・プラザについても全ての小学校に設置することとなっており、諸条件が整った学校から設置してきた。
中野神明小は適正規模になっており、多田小と新山小は適正規模になっていないが、多田小と新山小の2校を統合するのではなく、新山小を2つに分けて中野神明小と統合するのはなぜか。	南中野地域における小学校の通学区域や通学距離などを総合的に判断して3校を2校に統合することとした。
<p><意見></p> <p>中野神明小、多田小、新山小の通学区域は、南中野中と通学区域の整合性が図られており、新山小は小規模校ではあるが、保護者や地域の協力できちんと学校運営ができていることから、小規模校を特色として残すべきである。</p>	
<p><意見></p> <p>新山小の子どもたちは、新山小で卒業するつもりで入学してきたと思う。それが統合によって別々の学校に通学し、別々の学校で卒業することになるのは違和感がある。</p>	
多田小・新山小の統合新校の、仮校舎での期間は、何年を想定しているのか。また、多田小・新山小の統合新校は、2回の移転をするということか。	仮校舎の期間は、2年程度を想定している。また、移転については、多田小の位置で統合新校として開校し、その後、新山小の仮校舎に移転し、多田小を大規模改修して改修工事終了後、多田小に戻ってくる予定のため、2回移転することになる。

<p>新山小 PTA として話を聞くのは、今回が初めてである。何度も話し合いの場を設けるなどもう少し誠意を持って対応してほしい。本当に再編するつもりなのか。</p>	<p>教育委員会としては、よりよい教育環境を作るために再編は必要と考えている。</p>
<p>再度新山小で意見交換会を開催してほしい。 新山小は 2 つに分割され、子どもたちが犠牲になる。中野神明小、多田小で開催するのとは意味が違う。</p>	<p>意見交換会は南中野区民活動センター、多田小、中野神明小でも開催するので、そちらにも参加することができる。統合においては、該当校をいずれも廃止し、対等な立場で統合するので、どちらかの子どもが犠牲になるということではない。</p>
<p>意見交換会等の意見を踏まえ、教育委員会で協議し素案を案とする前に、もう一度保護者や地域で意見交換会を開催してもらえないか。</p>	<p>意見交換会の開催は難しい。案とした後、パブリック・コメント手続を行うので、そこで意見等あれば提出することができる。</p>
<p><意見> 教員の配置基準があるのは解るが、区として小規模校にも教員の配置を増やしてくれたら良い。</p>	

(2) 第三中学校・第十中学校の統合

<p>第三中は、帰国子女の受け入れ校として指定されているが、統合したらどうなるのか。</p>	<p>帰国子女の受け入れ指定校となっているわけではないが、特色ある取り組みとして続けていけるものは続けていきたい。</p>
<p>東中野地域から東中野小をなくし、今度は第三中をなくすというが、どうしてこの地域の学校をなくすのか。不公平ではないか。</p>	<p>区全域における小中学校の通学区域の整合性を図ることや通学距離など、総合的に判断した結果このようになった。</p>
<p><意見> この地域からは保育園も小学校もなくなり、中学校もなくなる。第三中は確かに校地が狭いかもしいないが、統合新校を第十中の位置にする理由が不明確である。また、適正規模の学校にするというが、小規模校にも良さがある。地域は学校を核として発展していくので、東中野地域に学校は必要である。</p>	
<p>教育基本法では、家庭教育の充実、学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力等がいわれている中で、地域と学校の連携をどのように考えるのか。また、学校がなくなることについての子どもたちの心情をどう考えているのか。</p>	<p>小中学校の通学区域の整合性を図ることで、学校と地域・家庭との連携を深めることができ、通学区域が広がることで、より大きな地域での連携が生まれると考えている。また、統合する学校には多くの卒業生がいるので、これまでの歴史や伝統を残しつつ、これからの子どもたちのためによりよい教育環境の提供に努めていきたい。</p>

<p>第五中は一定の規模が確保できることから統合は当面行わないというが、同じような規模の第三中はどうして統合するのか。</p> <p>また、第十中の小規模化を解消するためなのに、統合新校の位置がなぜ第十中なのか。</p>	<p>第十中の小規模化の解消と小中学校の通学区の整合性をできる限り図るため、隣接する第三中と統合することとした。</p> <p>また、統合新校の位置については、通学距離や敷地の状況などから総合的に判断し、第十中の位置とした。</p>
<p><意見></p> <p>ひがしなかの幼稚園は、近くに第三中があることで、運動をさせてもらったり、畑を借用して食育のための栽培をしたり、運動会の会場としたり、保育体験を通じた交流なども行っている。その他、地域の避難所にもなっている。第三中がなくなると、これらのことがすべてなくなる。地域の実情にあわせた再編計画にしてもらいたい。</p>	
<p><意見></p> <p>白桜小学校は統合しても、期待したほど人数が増えていない。第三中と第十中が統合しても同じことになるのではないかと。この計画は考え直した方がいい。</p>	
<p>東中野小の閉校によって、児童館の計画もなくなった。東中野小の跡施設も、いまだに暫定利用のみである。それでも子どもたちの居場所づくりをして、地域で見守る活動を続けてきた。統合すると地域が大きくなりすぎて、これまで通りの活動ができなくなる。これで本当に地域コミュニティがよくなるかと考えているのか。</p>	<p>小中学校の通学区の整合性を図ることで、学校と地域・家庭との連携を深めることができ、通学区が広がることで、より大きな地域の連携が生まれると考えている。</p>
<p>近い学校に行かせたい、地域の学校に行かせたいと考えるのは当然のことである。これだけ学校再編に不満を持っている方が多数いる中で、本当にスケジュールどおりに進めるつもりなのか。また、少人数指導の良さが言われている中で、どうして学校規模を確保することが必要なのか。</p>	<p>再編計画（第2次）の策定については、スケジュールどおりに進めたいと考えているが、素案に対する意見等により大きな修正がある場合、教育委員会での協議が必要なため、計画の策定が先延ばしになることもあり得る。また、学級数を確保すれば、一定規模の教員数を確保することができるので、少人数指導や習熟度別の授業などが可能だと考えている。</p>
<p>学校の規模のことばかりでなく、通学のことも考えてほしい。通学距離は短い方がいいに決まっている。だから白桜小より近い新宿区の小学校に区域外就学する家庭が多い。通学しやすい状況を壊さないでほしい。</p>	<p>第三中と第十中の通学区は、通学が可能な範囲だと考えている。</p>
<p>統合により、第十中が適正規模になるのは良いと思う。しかし、この地域は単身者が多く、第三中の地域から第十中の位置は遠く、私立中学校へ進学する子どもが多い。また、桃園小の通学区</p>	<p>人口推計により、統合新校は適正な規模になると推定している。</p> <p>私立中学校に進学する子どもが多いことについては、魅力ある学校づくりにより、公立中学校に</p>

が第二中の通学区域に変更されることなども考えると、統合しても、生徒数はますます減ってしまうのではないかと心配である。	通学してもらえようしていきたい。
通学区域変更後の第二中の通学区域には、十中に近い地域がある。第十中に通学したいという新生が出てくると思うが、指定校変更は可能か。	特別な事情がある場合を除き、指定校に就学してもらうことになる。
<p><意見> 通学の安全対策などを進めている中で、通学距離が長くなる統合はすべきではない。学校再編計画は、地域の意見を聞いた上で決めてほしい。</p>	
<p><意見> 実際に学校に通っている子どもの意見も聞いてほしい。大人の都合だけで決めないでほしい。</p>	
<p><意見> 計画の策定にあたっては、地域の思いも考慮してほしい。また、これまでに統合した緑野中、南中野中、中野中の話を聞いたことがない。学校再編の説明会なのだから、これまでの統合のことも説明すべきだと思う。ただ、中野区全体として考えると、どこの学校でも平等な教育であるべきなので、学校はある程度の規模にしていく必要があると思う。</p>	
<p><意見> 中野六丁目から第十中の位置の統合新校に行くよりも、距離が近い中野中に指定校変更することも検討してほしい。</p>	

(3) 桃園小学校・向台小学校の統合

統合新校の位置を桃園小の位置とするとあるが、桃園小周辺の道路は狭く緊急車両も入れない。統合新校の位置は、向台小の位置の方が災害時にも安全である。統合新校の位置を変更することは可能か。	校地面積や学校の位置、校舎や土地の状況などを総合的に判断して、統合新校の位置を桃園小の位置とした。
<p><意見> 災害時の避難所機能を果たせるようにするため、桃園小の周辺の道路を早急に拡幅すべきである。統合に向けて、そのことについても教育委員会としてきちんと対応してもらいたい。</p>	
向台小を仮校舎として統合する時に、普通教室や特別教室が足りなくなるということはないか。また、第十中から第二中へ通学区域変更となるが、第二中は生徒数が増えても収容できるのか。	現時点では、仮校舎として使用する向台小及び第二中において、教室数が足りなくなることはないと考えている。

(4) 上高田小学校・新井小学校の統合

新井小は、災害時の避難所になっているが、洪水ハザードマップを見ると被害想定されている。新井小は学校や避難所として大丈夫なのか。	洪水ハザードマップは、妙正寺川の改修工事前のものであり、その後、妙正寺川の改修工事が行われている。また、新井小は校舎を改築するので、
---	--

	必要があればその工事で対応をする。
西武新宿線地下化計画に伴う都市計画に、もみじ山通りを上高田小の東側を通して四村橋まで延伸する計画がある。この計画を実施するために学校をなくすのではないか。	都市計画があるのは確かだが、まだ計画の段階であり、具体的には決まっていない。また、再編計画は、小規模化を解消し子どもたちにより良い学校生活を送ってほしいという思いからであり、都市計画とは全く関係はない。
上高田地域は、子どもは減少しているが、子どもと地域は良い関係を築いている。 しかし、児童館も小学校もなくなると、拠り所がなくなってしまう。今後の地域活動についてどのように考えているのか。	統合後の広い通学区域の中で、統合新校を地域の学校として支えていってほしいと考えている。
上高田小には校内に学童クラブがないため、学童クラブのある新井小に指定校変更をする傾向がある。このことは把握しているか。 また、このような指定校変更の人数を推計には反映していないのか。	そのような理由で指定校変更があることは認識している。 また、指定校変更の人数は推計には反映していない。
<p><意見> 上高田小跡地を地域での活動に使用できるような方向で考えていってほしい。</p>	
上高田二丁目町会は指定避難所である大妻中野が工事中で使用できないため近くの施設を使用している状態である。上高田小がなくなると五丁目の人達も来ることとなり収容できるか不安である。避難所としての学校をなくさないでほしい。	学校でなくなるから避難所がなくなるわけではない。避難所の確保については、防災分野と調整しながら検討していく。
<p><意見> 学校は先生、生徒、保護者だけで成り立っているわけではない。地域も重要な役割を果たしている。上高田小がなくなると、地域の協力が途切れてしまうのではないかと心配である。統合は学校だけの問題ではないので、地域の方々から協力を得られるような計画としていってほしい。</p>	
上高田小・新井小の統合により新たに西武新宿線を横断しなければならない地域ができる。上高田五丁目から新井小までは大人でも約 18 分かかり、小学校低学年ではさらに時間がかかると思う。 また、沼袋駅あたりから仮校舎となる上高田小までは大人でも約 22 分かかる。この通学距離を適正だと考えているのか。	通学距離は長くなってしまいが、歩いて通学できる距離と考えている。
上高田五丁目あたりは、統合により新宿区の小学校の方が近い地域ができる。子どもを育てやすく、区内の学校に通学させたいと思わせるようにしてもらいたい。	区内の学校に通学したいと思ってもらえるように、小中学校の連携や学校と地域・家庭との連携の推進や特色ある学校づくりに取り組んでいきたい。

(5) 第四中学校・第八中学校の統合

<p>第四中と第八中の統合新校を若宮小の校舎を大規模改修して設置するとのことだが、小学校を中学校に改修するにあたりプールや体育館は建て替えるのか。校舎の配置も含め、全てを建て替えることはできないのか。</p>	<p>小学校を中学校に大規模改修するが、体育館とプールについては建て替えを行う予定である。なお、大規模改修を予定している若宮小については、平成 25 年度に学校施設の調査・診断を行い、改修又は改築を判断することとなる。</p>
<p>「再編時の児童・生徒数、学級数の推計値」だが、学校規模に差があり、バランスがあまり良くないのではないのか。特に、第四中・第八中の統合新校は、規模が大きくなりすぎていると思う。</p>	<p>小中学校の通学区域の整合性を図りながら、適正な規模の学校を目指した結果である。第四中・第八中の統合新校の学級数は、16 学級と推計しており、目指すべき規模と考えている。</p>
<p>北中野中は第八中から分離した経過もあり、地域との関係でいけば、北中野中と第八中を統合した方がいいのではないのか。</p>	<p>区全体として小規模化の解消や小中学校の通学区域の整合性を図っていくため、当初計画の示した組み合わせを基本として教育委員会で検討した結果、このような素案になった。</p> <p>北中野中と第八中を統合した場合には、第四中の小規模化が解消されず、小中学校の通学区域の整合性を図ることも難しい。</p>
<p>第四中・第八中の統合新校は通学区域が広い。特に野方一丁目から若宮小の位置の新校までの通学距離は長い。自転車通学は認められるのか。</p>	<p>第四中・第八中の統合新校は、今回の再編計画で最も通学距離が長くなるが、歩いて通学できる距離であると考えます。また、自転車通学については安全面を配慮し認めていない。</p>
<p>第四中の特別支援学級を若宮小の位置に設置する統合新校に設置するということだが、それを早めることはできないのか。</p>	<p>大和小・若宮小の統合後に、若宮小の位置に第四中・第八中の統合新校を移転・統合するため、それを早めることは難しい。</p>

(6) 大和小学校・若宮小学校の統合

<p>若宮小は現在 12 学級であるが、今回なぜ統合の対象となったのか。</p>	<p>大和小が小規模化していること、小中学校の通学区域の整合性を図ることから、若宮小と大和小を統合することとした。</p>
<p>統合新校が若宮小を仮校舎として設置されている期間は、啓明小の方が通学距離が近い地域もある。保護者としては近い学校に通わせたい。</p>	<p>中野区は指定校制度であるため、指定された学校に通学していただくのが原則である。ただし、指定校変更の承認の基準に基づき特別な事情があると教育委員会が判断した場合に、指定校変更を認めることとなる。</p> <p>なお、若宮小を仮校舎で使用する期間は、大和小を大規模改修する 2 年間のみである。</p>

大和町三丁目の児童は、大和小の学級数に影響があるため、指定校に通学するよう厳格に対応をしてほしい。	指定校変更については、基準に基づき、適正に運用されている。
若宮小を統合新校の仮校舎として使用している期間は、どこの学童クラブを利用するのか。来年度統合の時期等が明らかになる際は、学童クラブの取り扱いについても示されるのか。	若宮小近辺の学童クラブを利用してもらうことになると思う。具体的な統合の時期を示す際には、学童クラブの取り扱いについても明示できるよう担当部署と協議していきたい。
統合する年次が示されていないが、平成 25 年度に大和小及び若宮小に入学する児童は在学中に影響を受けるのか。	来年度、学校施設の調査・診断を行い、統合と通学区域変更の具体的な時期を示す予定であるが、来年度入学する児童については、在学中に統合及び通学区域の変更が行われる可能性はある。
統合と通学区域変更の具体的な時期については、平成 25 年度に定めるということだが、想定スケジュールでは大和小・若宮小の統合が一番早いと思う。この統合は最短ではいつになるのか。	具体的な統合と通学区域変更の時期は、来年度建物の調査・診断の結果を踏まえて定めることとなるが、統合までには、2～3年の準備期間が必要なため、大和小・若宮小の統合は早くても、平成 29 年度と想定している。
若宮小の校庭は芝生であるが、仮校舎で使用する場合はどうするのか。校庭へのプレハブの設置もあるのか。	仮校舎で使用する期間、芝生はそのまま使用することになる。また、仮校舎は、現在の若宮小の校舎を改修工事することで、対応が可能だと考えているが、もし、教室等が足りない場合には、プレハブの設置もありうる。
大和小の位置に統合新校を設置すると、若宮三丁目から大和小に通学する際に妙正寺川を越えることとなる。震災が起こった場合、橋が落ちて分断され自宅に帰れないことが想定される。安全対策についてどのように考えているのか。	災害時の安全対策については、統合に関わらず対応しなければならない。また、統合に伴う通学の安全対策については、妙正寺川のことも含め、どのように安全を確保するか今後検討していく。
<p><意見></p> <p>特別支援学級のはなみずき学級は、鷺宮小に移転した後、第八中の位置に設置される鷺宮小・西中野小の統合新校に移転することになる。特別支援学級には、その場所にこだわりの多い子どももいるので、移転については、子どもたちのことを十分に考えてもらいたい。</p>	

(7) 鷺宮小学校・西中野小学校の統合

西中野小の児童は、西武新宿線を新たに横断しなければならなくなる。安全を確保するために跨線橋を架けるなど、最大限の努力をしてほしい。	安全誘導員の配置など、通学の安全対策については、最大限の努力をしていきたい。また、統合新校は、校舎を改築するので、校舎改築の工夫や安全の確保についても検討する。
---	--

<p>西中野小の児童は、統合新校に通学するにあたり、新たに西武新宿線を横断しなければならない。雨天時には30分～1時間も踏切が開かないこともあり、現在、西武新宿線を横断している児童生徒は学校に遅刻してしまう場合もあるようだ。安全誘導員を配置しても踏切は開かず、大人が遮断機をくぐると子どもたちも真似をして危険である。根本的な解決に向け、跨線橋や地下通路の設置などをしてもらいたい。</p>	<p>通学の安全確保は重要と考えおり、跨線橋の設置や安全誘導員の配置など検討していく。また、区内には他にも西武新宿線を横断しなければならない学校があり、事業者に対する要望や野方駅以西の地下化の早期実現に向けた要望もしていきたい。</p>
<p>西中野小の児童が、西武新宿線を横断しなければならない。統合新校以外の学校へ指定校変更してしまうことで、統合新校が小規模化してしまう可能性もある。その場合には、再編計画を見直すのか。</p>	<p>今回示した11年間の再編計画を途中で見直す予定はないが、今後の児童数・学級数の状況によっては、見直す場合もありうる。</p>
<p>第八中の西武新宿線の南側は、区の施設等があり、地権者などの調整が必要ないので、跨線橋の設置は容易にできるのではないかと。</p>	<p>西武新宿線の横断について、どのようにしていくか校舎の改築もあるので、その辺も含めて検討していく。</p>
<p>統合新校が設置される第八中は校舎と校庭が道路で分断されており、段差もあることから校庭に教職員の目が行き届かなくなり、児童の安全面が不安である。</p>	<p>区内では、桃二小と江原小の校地が道路で分断されているが、道路規制や指導員の配置などにより対応している。 統合新校は校舎を改築するので、校舎改築の工夫や安全の確保について検討する。</p>
<p>統合新校には、知的の固定学級と情緒の通級学級の特別支援学級を設置するということだが、教員が一緒になってしまうことはないか。</p>	<p>基本的に教員は別になる。具体的な配置は東京都が行うことになる。</p>
<p>西中野小は統合対象校であるが、平成24年に主要部分が50年を経過し、統合までに約10年間利用するため、来年度に行う調査の対象としてほしい。</p>	<p>来年度の調査は大規模改修を行う予定の校舎について、改修又は改築を判断するために行う。 西中野小については、統合するまで必要な改修工事等は適宜行っていく。</p>
<p>西中野小の統合後の跡地は、どのようになるのか。地域の避難場所として、地域の子どもたちの遊び場にしてほしい。</p>	<p>跡地については、現段階では具体的には決まっていない。行政需要、地域まちづくりでの活用や校舎改築等の財源確保のための売却など、今後検討していくことになる。また、地域の避難所を確保していくことは必要であり、近隣の学校や跡施設、周辺の私立学校等の活用などを検討していくことになる。</p>
<p>鷺宮小の通学区域である上鷺宮一・二丁目を上鷺宮小に変更するのではなく、新青梅街道を渡っ</p>	<p>今回の再編計画は小中学校の整合性を図ることを目的としており、見直しにあたっては中学校の</p>

て鷺宮小・西中野小の統合校に通学することとした理由は。	通学区域を主に見直しを行い、必要に応じて小学校を見直すこととし、現行の上鷺宮小の通学区域を尊重したものである。
<p><意見></p> <p>町会の分断を解消するため、上鷺宮一・二丁目は鷺宮小から上鷺宮小に通学区域を変更すべきだと思う。</p>	

5. 学校再編に伴う特別支援学級の取り扱いと今後の方向

特別支援学級の子どもたちは、新しい場所に慣れるのに時間がかかると思う。特別支援学級の子どもたちが新しい場所に円滑に移転できるように配慮していくべきである。	保護者への事前の説明や移転先の見学など、特別支援学級については、十分に配慮をしていく。
<p><意見></p> <p>特別支援学級について、前期の学校再編では移転先の学校が明確になっていなかったことで保護者も不安に感じていたが、今回の計画では、移転先が明確になっていてよかった。</p>	
かみたかだ通級指導学級は、平成 30 年度に平和の森小に移転することになっているが、それまでに平和の森小の校舎は新築できるのか。	法務省矯正研修所等の移転先である立川基地跡地に猛禽類が生息していたことで、建設工事が 2 年程度遅れていたが、すでに建設に向けた工事に着工しており、かみたかだ通級指導学級を移転する時期までには、平和の森小の新校舎は完成する予定である。

6. 指定校変更の取り扱いについて

指定校変更の適用時期などを、来年度定めるとのことだが、来年度の新生は在学中に統合することになると思う。来年度の新生は、学校再編に伴う指定校変更を認めてもらえるのか。	指定校変更の適用時期などは、来年度定めるので、来年度の新生は、学校再編に伴う指定校変更の適用にならない。
中学生でも通学距離が近い学校への指定校変更を、学校再編に伴う特例として認めてもらえるのか。	通学距離を理由に指定校変更を認めるのは小学生のみである。
<p><意見></p> <p>中学生も小学生と同様に通学距離による指定校変更を認めてもらいたい。</p>	
学校再編に伴う指定校変更により、統合新校を設置しない学校は、より一層の小規模化が進んでしまうのではないのか。	<p>統合することが決まっているのに、統合新校が設置される学校へ通学できないのはおかしいという意見もあり、どちらの学校にも入学できるようにした。</p> <p>なお、今回の計画では、統合新校の位置としない学校を新校舎の改修工事期間、仮校舎とするた</p>

	<p>め、新入生が激減してしまうことはないと考えている。</p> <p>また、前期に統合した学校も学校や保護者・地域などの協力により、統合するまで充実した学校運営ができていた。</p>
<p>「中野区における指定校変更の承認に関する基準」は特に中学校で厳しいと思う。学校再編に伴う指定校変更の取り扱いについては、柔軟な対応をお願いしたい。</p>	<p>中野区は指定校制度となっているので、指定された学校に就学してもらうことになる。ただし、学校再編に伴い、在学中に統合することになる学校への入学予定者については、特例を設け指定校変更の承認をすることとしている。</p>
<p><意見></p> <p>第八中と北中野中の通学区域変更により、兄弟で指定校が異なることになる。その辺については、指定校変更の柔軟な対応をしてもらいたい。</p>	
<p>前期で東中野小の区域の児童が新宿区へ区域外就学してしまったように、向台小の区域の児童が新宿区と渋谷区に区域外就学してしまうかもしれない。</p> <p>区域外就学に対して、教育委員会はどのように対応するのか。受け入れ先の区へ積極的な対応はしないのか。</p>	<p>中野区内の小中学校に就学するよう、魅力ある学校づくりを進めていく。</p> <p>区域外就学の認定は受け入れ先の区の判断であり、受け入れ先の区への積極的な対応は難しい。</p>
<p>啓明小の通学区域で野方一丁目は、通学区域が中野中から第四中へ変更となる。環状七号線を渡って第四中へ通学するより、中野中に通学した方が近くて安全だと思う。</p>	<p>小中学校の通学区域の整合性を図るため、小学校の通学区域を尊重し、中学校の区域を見直すことで検討を行った。野方一丁目は啓明小の通学区域であり、啓明小の通学区域を環状七号線で区切れば良いという意見もあるが、そうすると啓明小が小規模化してしまうため、啓明小の通学区域に第四中の通学区域を合わせることにした。</p>
<p>今後も、現行の「指定校変更の承認に関する基準」により、指定校変更をすることは可能か。</p>	<p>中野区は指定校制度であるため、指定された学校に通学していただくのが原則である。ただし、健康への配慮や通学への配慮、家庭の事情、学校生活への配慮など、承認に関する基準があり該当した場合は指定校変更を認めることとなる。</p>
<p>中野区は指定校制度をとっているが、実際は指定校変更が多い。指定校変更が安易に認められている気がする。指定校制度をやめ、学校選択制にした方が良いのではないか。</p>	<p>指定校変更は、基準が定められており、決して安易に変更を認めているわけではない。</p> <p>また、公立学校は地域のコミュニティの核としての役割を果たしていくことが重要と考えており、学校選択制の導入は考えていない。</p>

7. その他

(1) 意見交換会について

<p>学校公開日など、多くの保護者の参加が見込まれる日に、PTAなどが希望すれば、説明してもらえるのか。</p>	<p>要望があればできる限り対応していきたい。</p>
<p>意見交換会の周知はどのように行ったのか。また、未就学児の保護者に対してはどのように周知したのか。</p> <p>今回の意見交換会の開催時間がほとんど夜間に設定してある。この時間帯では、未就学児の保護者が参加できない。なぜこのような時間設定を行ったのか。</p>	<p>区報、教育だより、教育委員会ホームページ、区のお知らせ板により周知を行った。また、区立小中学校の全ての保護者については学校を通して案内文を配付し、区内の私立幼稚園及び保育園、また区立幼稚園及び保育園については、チラシを配布した。</p> <p>意見交換会の開催時間については、学校を会場にする関係や就労している保護者も参加できるようにこの時間で開催することとした。</p>
<p>今回の意見交換会で出た意見を踏まえ、再度意見交換会を開催しないのか。また、意見交換会の内容についてはホームページに掲載するのか。</p>	<p>このような形での意見交換会を再度開催することは予定していない。意見交換会の内容については、要約したものをホームページに掲載する。</p>
<p>重要なことについては教育委員会に持ち帰るという回答であれば、意見交換会に教育委員も参加してもらえば良いではないか。</p>	<p>全ての意見交換会に教育委員が参加することは困難であり、今後教育委員が直接意見を聞く機会を設けることを現在検討している。</p>
<p><意見></p> <p>学校再編は、保護者だけではなく、地域にも関係するが、今回、地域への周知期間が短かったと思う。</p>	
<p><意見></p> <p>意見交換会の参加人数が少ないのは、周知の方法や時間設定に課題があったのではないかと思う。その辺をもう少し工夫してもらいたい。</p>	

(2) その他

<p>統合対象になっていない学校でも、校舎の主要部分が建築後 50 年を経過する学校がある。その学校の大規模改修や改築もきちんとやってもらいたい。</p>	<p>統合対象になっていない学校も、主要部分が建築後 50 年を迎える時期には建物の調査・診断を行い、仮校舎の確保や財源などを調整して、改修・改築の計画を検討していく。</p>
<p>学校跡地についてはどう活用するか決まっているのか。また、跡地活用の検討にあたっては、地域の意見を聞いていくべきではないか。</p>	<p>跡地の活用については、区全体として検討していく必要があり、現段階では具体的には決まっていない。</p> <p>跡地活用の検討にあたっては、担当部署が地域の意見も聞いていくことになると思う。</p>

<p>学校は災害時の避難所としての役割を果たしているが、統合新校とならない学校の避難所としての役割は、どのようになるのか。</p>	<p>避難所機能は必要であると考えている。統合後の学校については、施設として残れば引き続き活用する。また、避難所として活用できない場合には、周辺の区施設や私立学校、専門学校などを避難所としていくことなどが考えられる。具体的には担当部署で今後検討していくことになる。</p>
<p>学校の校庭や体育館は、地域のスポーツ団体や地域団体などが利用しているが、統合後はどのようになるのか。</p>	<p>統合新校の校庭や体育館は、現行と同様に利用できるが、学校の跡地は、これまでのような目的外利用や校庭開放はできなくなる。なお、跡地の具体的な活用については、区全体として今後検討していくことになる。</p>
<p><意見> 学校の跡地は地域で有効利用できるようにしてもらいたい。また、跡地は区の貴重な財産であり、売却はしないでほしい。</p>	
<p>キッズ・プラザが統合新校に設置されると児童館がなくなるということだが、児童館がなくなった後、乳幼児の事業はどこで行うのか。</p>	<p>乳幼児の事業展開については、現在担当部署で検討しており、今後どのような事業展開をしていくか示されると思う。</p>
<p>児童館は、乳幼児や小学生、中学生の交流の場としても活用されている。交流の場としての児童館の役割の確保をしてもらいたい。</p>	<p>担当部署に意見を伝え、対応できるようにしていきたい。</p>
<p>キッズ・プラザ、学童クラブは、他区から中野区に区域外就学している児童も、利用できるようにしてもらいたい。</p>	<p>キッズ・プラザは区域外就学している児童も登録すれば利用できる。学童クラブは、区域外就学の児童の受け入れは難しい。</p>
<p>乳幼児は多いが小学校入学時には児童数が減少し、学校再編するということになっていると思う。子育てがしやすく、子育て世代が生活しやすい区としていくような施策に取り組んでいく必要があるのではないか。</p>	<p>中野区として、さまざま子育て支援施策に取り組んでいるところである。子どもを増やすこと子育てしやすい環境づくりは重要であり、区としても検討を進めているところである。</p>
<p>若宮一丁目は鷺宮区民活動センターの管轄であるが、地区まつりなどは家から近い野方区民活動センターに行くという状況である。地域と学校の連携を考えるならば、区民活動センターの区域割りについても考えてほしい。</p>	<p>区民活動センターの区域と小中学校の通学区域の整合性が図れていないことについては認識している。区民活動センターについては担当部署で検討することになる。</p>